

広報

おいらせ

特集

ごみ減量の すすめ

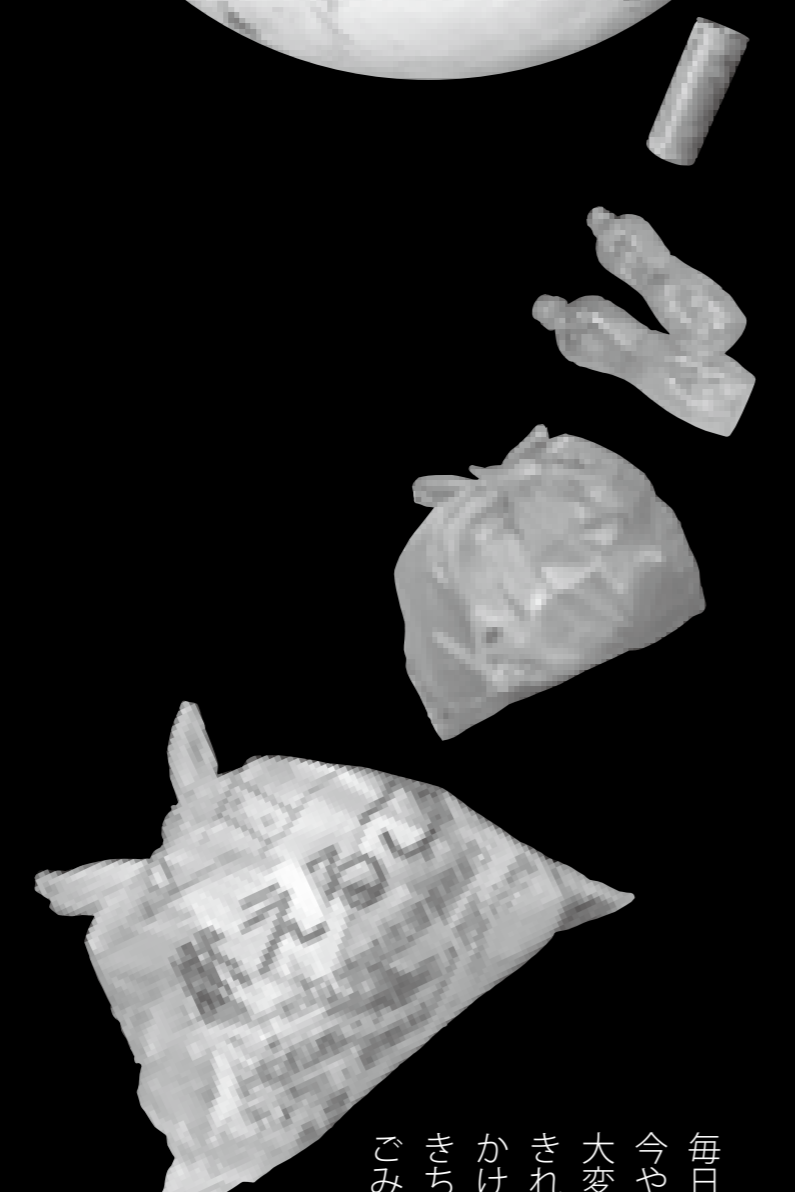
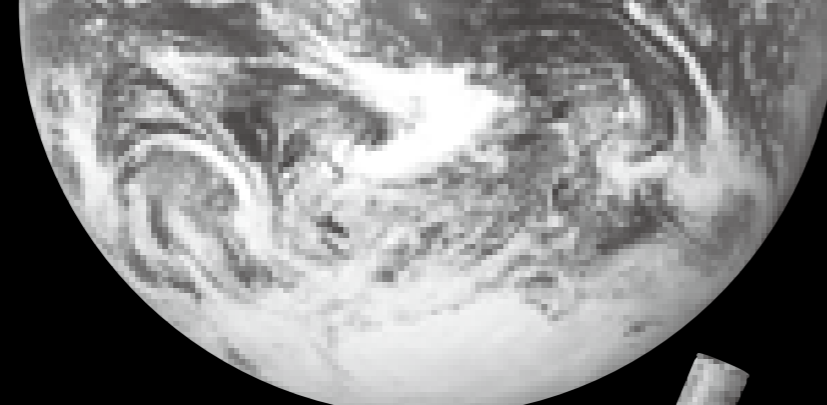
☑みんなに教えたいこの人
☑平成 21 年度おいらせ町職員紹介
☑おいらせ町出前講座
☑おいらせが全国に誇れるブランド
☑家族のきずな ほか

Public
Relations
May
2009
No.51

5

OIRASE Special Edition

ごみ減量の すすめ



毎日の生活で必ず出てくるごみ。
今やごみを処理するためにも、
大変なお金がかかる時代です。
きれいなおいらせ、美しい日本、
かけがえのない地球を未来に
きちんと残していくために、
ごみの減量を考えてみませんか？

広報おいらせ

5 Oirase Town
Public Relations
May 2009
No.51

CONTENTS 目次

- 02 みんなに教えたくなる
この人
坂本イツさん
- 03 <特集>
ごみ減量のすすめ
- 14 まちの話題
Oirase Topics
小学校卒業式、日米合同鮭の稚
魚放流会、植樹会 ほか
- 16 平成21年度
おいらせ町職員紹介
- 20 自治基本条例
- 23 おいらせアーカイブス
- 28 Monthly
Oirase
Information
税金のはなし、発掘調査作業員
募集、町民ゴルフ大会ほか
- 33 おいらせ健康カレンダー
- 34 Zoom up
家族のきずな
中嶋純花さん・純さん
＝朝久保＝



木ノ下子ども会の廃品回収は3月29日に行われた。古雑誌を丁寧に分別する松林実来さん＝木ノ下＝。当日は好天に恵まれ、たくさんの子どもたちが参加した。

みんなに OIRASE FRONT PAGE Sakamoto Itsu FILE 2

教えたくなる
この人

優しい気持ちになれる生け花 思いやりの心を育みたい



坂本イツさん

創美流坂本溪雲社中代表

Sakamoto Itsu
創美流坂本溪雲社中代表。1935年五所川原市生まれ。21歳から50年以上にわたり生け花をたしなむ。自宅での稽古以外に、学校や児童館などでも積極的に生け花の普及活動を行う。夫との2人暮らし。緑ヶ丘在住、73歳

人口増加の著しい緑ヶ丘地区在住の坂本イツさん（七三）。自宅に『創美流坂本溪雲社中』を設け、生け花の指導を長年行う。また、自宅だけでなく、学校や児童館のクラブ活動でも、子どもたちに生け花の魅力を伝え続ける。

坂本さんが生け花と出会ったのは、二十一歳の頃だという。坂本さんは、「そのときは五所川原市の税理士事務所に勤めていました。その税理士の奥様が、生け花や和裁、編み物など、さまざまなお仕事をたしなむ方だったんです。その奥様からの教えこそ、わたしが生け花を始めるきっかけでした」と、懐かしみながら話す。

二十五歳のときに、夫俊明さんと結婚し、埼玉県で生活する。このときから生け花の活動がさるに盛んになる。生け花の流派である創美流の家元、渡邊華派

先生に師事。熱心に稽古を続け、腕前を磨いた。

昭和五十年に三沢市、そして平成二年においらせ町へ引っ越した。同時に北公民館での生け花活動を始める。その後、町文化協会へ加入し、活動を本格化。現在では町文化協会副会長として、生け花だけでなく、さまざまな文化活動の普及に努める。

最近では児童館や学校のクラブ活動などで、子どもたちへの生け花普及に力を注ぐ坂本さん。

「日本の伝統文化は、本当に素晴らしいと思います。自然を大切に思うことや、相手への思いやり、もてなしの気持ちが詰まっています。子どもたちには体験を通じて、心豊かな大人に育ってほしいですね」とこころ。

「生け花はわたしの命」という坂本さんの思いは、将来を担う子どもたちに、しっかりと伝わっている。



五戸町にある最終処分場に捨てられる焼却灰。1回の運搬でおよそ7トンの灰が捨てられる

ごみの行方

科学技術の進歩は、わたしたちの生活を便利なものに変えた。しかし、毎日ごみが発生し、毎日処分されていることも忘れてはならない。ごみはなぜ増えたのか、ごみの行方とともに考える

循環型社会への転換

太陽系第三惑星「地球」。四十六億年前に誕生したわたしたちの地球は、周りを薄く覆った大気のおかげで、たくさんの生物をはぐくんだ。二百万年前に地球上に現れた人類は、わずかな時間で文明社会を築き、今に至っている。

人類は十八世紀の産業革命をはじめとする転換期を経て、人口を大きく伸ばし始める。同時に大量生産、大量消費の社会を築き、自分たちの生活を快適なものに変えていく。

しかし一九八〇年代以降、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など、地球規模の環境問題が顕在化してくる。最近の研究では、二十世紀後半の北極の平均気温は過去四世紀の間でもっとも高いといわれる。さらに北極圏の冬季の平均気温は、最近三十年間で六度も上昇している。これによって起こる海面上昇は、地球上のさまざまな島を水没させる恐れがある。

地球環境の破壊をもたらす大きな原因は、人類の生産活動が「大量生産→大量消費→大量廃棄」というサイクルになっていることが考えられる。環境に与える負担を可能な限り減らし、使えるものはできるだけ長持ちさせたりリサイクルしたりする「循環型社会」への転換が、今後求められている。



十和田市にある十和田地域広域事務組合。十和田市、六戸町、おいらせ町、五戸町、新郷村から出されるごみを処理する
■十和田地域広域事務組合 Tel.0176-28-2654

一人三百キロのごみ

今や世界中の国が直面するごみ問題。もちろんわたしたちが住むおいらせ町も例外ではない。平成十九年度、おいらせ町のごみ収集量は七千九百五十一トンにのぼる。町民一人で年間三百キロ以上のごみを出している計算になる。このごみを処理している十和田地域広域事務組合へ支払う負担金は、年間一億六千万円以上になるといふ。もちろんこれは税金でまかなわれるものだ。わたしたちが毎日のように出しているごみは、いったいどのように処理されているのだろうか。そしてごみを減らすためには、どのようなことに気をつけなければならないのか。十和田地域広域事務組合取材し、そのヒントを探った。

日夜絶え間ない作業

十和田地域広域事務組合の敷地に入り、すぐ目につくのが計量棟だ。まるで高速道路の料金所のようなこの場所で、ごみ収集車は計量され、積載したごみの量が分かるようになってる。

可燃ごみを積載した車両と、それ以外のものを積載した車両は、それぞれ別のごみ収集場所「ごみ貯留ピット」へ向かい、ごみを車から投入

する。

可燃ごみはピットの中で偏りがないように、クレーンで十分にかき混ぜられ、焼却処分される。臭気や排ガスは高熱で分解処理される。焼却されたごみは、十分の一度の重さの焼却灰になる。高温の焼却灰は水で冷やされ、最終処分場へ運ばれる。そのほかのごみは破砕機と呼ばれる機械でこなごなに碎かれる。そして強力な電磁石や選別機を使い、鉄、アルミ、可燃ごみに選別される。鉄やアルミの缶は、何百本にもまとめられ、二百トンもの圧力をかけてブロックにする。このブロックは鉄材、アルミ材としてリサイクルされる。ここでは可燃ごみは二十四時間稼働で百五十トン、そのほかのごみは五時間稼働で四十トンを処理する能力があるという。すべての作業は、中央制御室でコンピューター制御さ

れている。

わたしたちが何気なく出しているごみは、多くの手間と労力を加えられながら、コンピューター設備を駆使して、日夜絶え間なく処理が続けられている。

あと九年、わずか九年

最近のごみ事情について、十和田地域広域事務組合業務課の佐々木淳司課長補佐はこう話す。

「ここで処理しているごみの量は、ここ数年はほぼ横ばいの状態です。特に缶やペットボトルなどの資源ごみは、平成十五年から分別収集を完全実施したことで、収集量が増加しています」

そして現在もつと懸念されているのが、最終処分場の使用可能期限

であるという。佐々木課長補佐は、

「現在一カ所の最終処分場がありますが、このままのペースでごみを埋め立てたならば、あと九年ほどで満杯になってしまいます」と話す。

新しい最終処分場をつくるには、大変な労力とお金がかかる。そして何よりも、住民の十分な理解が必要になる。十和田地域事務組合は、焼却灰をセメント化するなど、リサイクルに力を注いでいくという。

「九年はあつという間です。その間に、ごみを減らすための取り組みを一人ひとりが実践していかなければなりません」という佐々木補佐。わたしたちが何気なく出しているごみは、もう処理しきれないとこまで来ている。最終処分場はすでに悲鳴を上げているのだ。佐々木補佐の一言ひとことに、事の重大さを感じた。



1_インタビューに応じた佐々木課長補佐 2_中央制御室のようす。4つのモニターがさまざまな作業経過を映し出す 3_ごみ貯留ピットの中で可燃ごみをクレーンでかき混ぜる。ごみの質を平均化させ、炉の温度を保つことでごみを効率よく燃焼する

地道な巡回活動

正しい分別方法は、
ごみ減量への第一歩だ。
町から委嘱される環境美化指導員は、
ごみ分別の啓発や不法投棄監視など、
地道に現場へ足を運んでいる。
彼らの巡回活動に密着した



黄色のジャンパー

目にまぶしいほどの黄色が目立つジャンパーを身にまとい、今日も環境美化指導員は町内を巡回している。前年度に引き続き、本年も金田卓也さん(七)＝上新町＝、田澤久仁於さん(六八)＝根岸＝、八重垣勝利さん(六四)＝三本木＝、中村栄佐雄さん(六一)＝三本木＝は、環境美化指導員を引き受ける。環境美化指導員は、家庭ごみが出されるごみステーションを巡回し、分別の状況を確認する。そのほか、不法投棄現場の状況を確認し、町へ報告する役目を担う。住民へごみのモラルを啓発する大切な仕事だ。彼らの活動を見せようため、四月六日、七日の両日行われた巡回活動取材させてもらった。

ごみはごみを呼ぶ

金田さん、田澤さんが運転する車は、人目のつかない山道へと向かった。しばらくすると、道の両脇にたくさんのごみが散らかる場所にたどり着いた。金田さんは「ここはわたしたちが巡回するコースで、もつともごみが多く散らばっている場所なのです」と、少し悲しそうな表情で話す。空き缶やビニール袋だけではない。

レビヤタイヤなど、どう考えても意図的に運んだとしか思えないようなものもあるのだ。田澤さんは「ごみはごみを呼ぶんです。汚いところには自然とごみが増えてくる。だからこそ、普段からきれいにしておくことが必要なのです。そうすれば、ごみを捨てる人は『捨ててはいけないな』という気持ちになるんじゃないかと思うのです」と話す。田澤さんの言葉に納得した。確かに自分の部屋でもそうだ。汚くなる掃除するのがおっくうになってしまふ。でもきれいな、汚すのがもったいないと思えてくる。ごみだつて、同じことが言えるのだ。

町内一番を目指そう

引き続きもうひとつのグループ、八重垣さんと中村さんの巡回活動を追った。車は人口増加の激しい町の北部から巡回を始めた。ここでも金田さん、田澤さんグループと同じように、山道に捨てられている粗大ごみを何度も目にした。そのたびに八重垣さんと中村さんは車を停める。そしてビニール袋とデレキを手にして、丁寧にごみを拾っていく。中村さんは「やっぱり看板を立てていないところにはごみが多いみたいだね。でも、わたしたちがごみを拾っている姿を、たくさんの人が見

ているんだ。地道に活動を続けていけば、きつとごみを捨てる人は気持ちが変わってくると思う」と話す。八重垣さんはカメラで現場を撮影しながらごみを拾う。後で町へ状況を報告するときを使うのだという。山道の不法投棄現場を五、六カ所ほど確認したあと、車は住宅地へ向かう。ごみステーションを確認するためだ。人口増加の激しい地域だが、どのごみステーションも、とてもきれいに管理が行き届いている。八重垣さんは「これは町内会ごとに二、三名委嘱されているごみ減量推進員たちの頑張りだよ。地域できちんとして見守りの体制ができるようになったから、こんなにきれいに管理が行き届いているんだと思う」と話す。地域の見守りの力は、小さな積み重ねが大きな力になる。以前は大きな悩みだったというごみの分別やモラルは、確実に高まってきているようだ。いくつものごみステーションを一緒に巡回して、そのことがよく分かる。一川目町内会のあるごみステーションには、「きれいな、収集場所」、「一川目町内、一番を、めざそう」と書いたシールが貼りつけられていた。自分たちの町内会を、自分たちの手できれいにしよう、という強い思いを感じる。一人ひとりの地道な取り組みが、地域の人々の心を動かしている。

Yaegaki & Nakamura Group



若葉町内会の資源回収ボックスを巡回する。缶はきれいに分別され、袋にもきちんと名前が書かれていることを確認

林の中から出てきた農薬のびんやガラス。もしもここで子どもたちが転ぶようなことがあったら…そう思うとぞっとする

林の中に無造作に捨てられた大量のタイヤ。中村さんは「いったい誰がこんなことをするのだろうか」と憤りを隠さない

Kaneta & Tazawa Group



住民がごみステーションの管理を徹底している一例。この一川目 No.24 ごみステーションは、とてもきれいに管理されていた

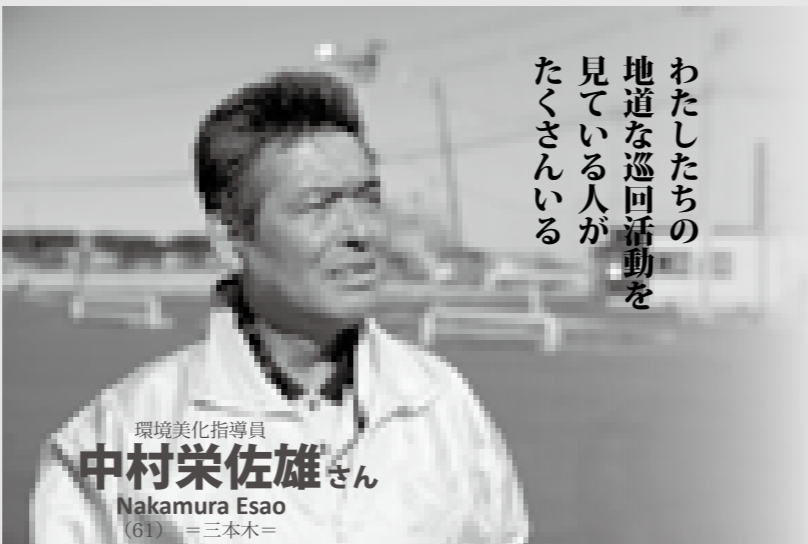
住民との情報交換も大切な仕事のひとつ。いつもごみステーションを見守る人と話することで、正しい情報をつかむ

山道に散らかるごみを丁寧に拾う。田澤さんは「ごみはごみを呼ぶ。人目のつかないところほど人はごみを捨てる」と嘆く



ごみステーションを巡回してみると、ごみ分別が浸透していると感じる

環境美化指導員
八重垣勝利さん
Yaegaki Katsutoshi
(64) =三本木=



わたしたちの地道な巡回活動を見ている人がたくさんいる

環境美化指導員
中村栄佐雄さん
Nakamura Esao
(61) =三本木=



ごみはごみを呼ぶ。住民一人ひとりの力が大変重要だ

環境美化指導員
田澤久仁於さん
Tazawa Kunio
(68) =根岸=



ごみに対するおいらせ町民の意識は確実に高まっている

環境美化指導員
金田卓也さん
Kaneta Takuya
(71) =上新町=

EM菌で生ごみ減量

家庭から毎日出される生ごみは、家庭ごみの4割を占めるといふ。生ごみを減らすことができれば、家庭ごみ減量に大きな効果がある。最近注目されているEM菌を使った生ごみ減量は、農業とも結びつき、ブランドを生む可能性がある

にのいない生ごみ

「生ごみとEM菌でつくった肥料を使うと、野菜が本当に甘くなるんです」

柏崎幸子さん(五八)と木内タツは、長年農薬を使わない野菜をつくっている。最近では、生ごみとEM菌を混ぜて発酵させた肥料を使い、無農薬野菜の栽培にいつそう力を入れている。

生ごみは町の北部、若葉町内会を中心に各家庭を回り、提供してもらう。柏崎さんの生ごみ回収に同行したこの日、柏崎さんの軽トラックにはたくさん生ごみが積み込まれていた。

は、ほとんどいやなにのいない。柏崎さんは「協力してもらおう皆さんは、生ごみにEM菌を入れてくれるんです。これを入れると、生ごみは分解が進み、いやなにのほとんどなくなるんです」と笑顔だ。生ごみは家庭から出るごみのおよそ4割を占めるといわれている。その生ごみが、ごみとして出されず、肥料として活用されている。今では四十軒ほどの家庭から生ごみを回収している柏崎さん。このような活動を展開するきっかけは、若葉町内会で「ごみ減量に熱心に取り組んできた、ある人物と出会ったことだといふ。

ごみは宝の山だ

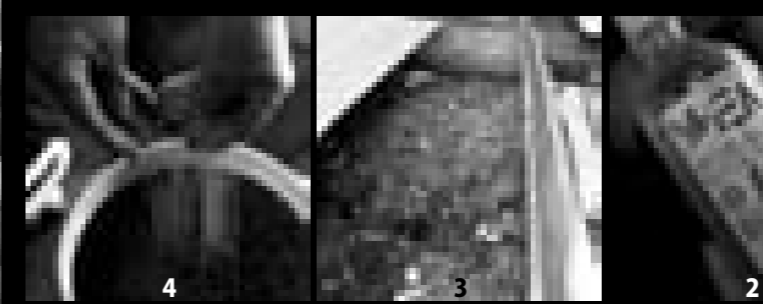
若葉町内会で、ごみの減量やリサイクルに力を入れてきた種市輝夫さん(七二)のお宅を訪問した。

種市さんは平成十四年から四年間、若葉町内会長を務めた。そのときにまず取り組んだのは、ごみの減量だったといふ。「ごみにはたくさん可能性が有ります。資源としてきちんと分別すれば、ごみは減るし資金にもなります。生ごみは上手に使えば、おいしい野菜をつくるのに欠かせない最高の肥料になります。まさに『ごみは宝の山』です」と笑う。種市さんのビニールハウスには、

つやつやと輝く小松菜がびっしりと育っている。EM菌ともみがらを混ぜて発酵させた「EMボカシ」を肥料にした小松菜だ。種市さんはこれを「食べてみて」と勧める。恐る恐る口にしてみる。すると、意外なほどに繊維は柔らかく、甘みさえ感じる。緑の葉野菜は苦味もあるだろうと思っていたが、本当においしいのだ。



EM菌 / Effective Microorganisms の略で、有用微生物群のこと。汚れや腐敗を抑える働きがある



1_生ごみを回収する柏崎さん。EM菌で分解した生ごみは、いやなにのいない 2_EM菌。一般の店でも販売している。500ml入りのびんで1,000円ちょっとで購入することができる 3_EM菌を入れた生ごみと、わらを混ぜた肥料。4カ月ほど発酵させた肥料は、まるで土のようだ 4_EM菌ともみがらを混ぜて発酵させた「EMボカシ」。これも肥料として使うことができる

生ごみ減量は 家庭ごみ減量につながる——柏崎

EM菌を使った野菜は おいらせブランドになる——種市



PROFILE

たねいち・てるお◎1938年、おいらせ町本村生まれ。十和田地域広域事務組合ごみ有料化等検討委員。02年から4年間、若葉町内会長を務める。積極的に町内会のごみ減量やリサイクル活動を展開する。06年からはEM菌講習会を定期的に開く。おいらせ町若葉在住、71歳

かしわざき・さちこ◎1950年、おいらせ町木内々生まれ。農業。安心、安全な野菜の生産に力を入れている。町生活改善グループ連絡協議会会長、学校給食地産地消の会会長。96年には青森県の農村女性リーダー「Vicウーマン」に認定。おいらせ町木内々在住、58歳

「死源」を「資源」に

古新聞、古雑誌、空き缶―
分別しなければ「死源」になり、
分別すれば立派な「資源」になる。
ごみ減量とリサイクルにつながる
子ども会の廃品回収取材した

回収かごはすぐ満杯に

三月二十九日午前八時、木ノ下ふれあい館。三月二十九日午前八時、木ノ下ふれあい館。たくさん子どもや大人が集まっている。木ノ下子ども会恒例の廃品回収だ。ふれあい館駐車場には、二メートル四方はありそうな、大きな鉄のかごが四つ置かれている。木ノ下子ども会会長の榎山義仁さん(四七)は、参加者を集め、作業の流れを説明する。みんなの前に広げた手作りのマップには、木ノ下町内会の地図が描かれ、大きく五つのエリアに区分けされている。「今日はこのエリアから順番に、新聞や空き缶を回収するよ。トラックに乗りたい人はいるかな」子どもたちは、われ先にと手を挙げる。話し合いで、先に二トントラ

り、トラックはふれあい館へ向かう。トラックが到着すると、待機していた子どもたちが一斉に寄ってくる。そして回収物を回収かごへ入ると切り、別のごみとして分別する。缶は決められた場所にまとめる。一升びんはきちんとふたを外して、きれいに並べる。中にはきれいなままの漫画本もある。それを手に、夢中になって読んでいる子どももいる。運搬は十回ほど繰り返される。子ども会の回収とは別に、ふれあい館に直接持ち込む人もいる。作業は十一時すぎに終了。そのころには、四つの回収かごは古新聞や雑誌でいっぱいになっていた。この日の回収物は、後で業者へ買い取ってもらうことになる。

ごみは減らさなきゃね

榎山会長は、子ども会の資源回収事業をこう語る。「木ノ下子ども会は年三回、廃品

回収を行います。子ども会にはあまりお金がありませんから、この廃品回収で得る収入は非常に大きなものです」廃品回収に取り組み始めたときは、あまり回収量は多くなかったという。それでも回収を地道に続けてきた結果、今では町内の多くの人が協力してくれるという。榎山会長は、「資源を捨てずに分別する、そして子ども会が回収する」という流れは、ごみを減量に大きくつながると思います。子どもたちにはこの活動を通じて、ごみや資源のことについて少しでも関心を持ってもらいたいですね」と笑顔だ。榎山会長の話を聞いていた坂本怜美さんは、「うちでも必ず古新聞をとっておくんだよ。そうすればごみにならないし、ちゃんとりサイクルできるんだから。ごみは減らさなきゃね」と、誇らしげに話す。子ども会で行う廃品回収レデュース、リサイクルの大切さは、将来を担う子どもたちの意識に、確実に根付いている。

知っ得情報
資源集団回収事業奨励金
町は子ども会などが行う廃品回収活動に対して、「資源集団回収事業奨励金」を交付している。これは廃品回収活動で集めた資源を業者へ売ったとき、資源1kgあたり2円の奨励金を支払うもの。平成20年度はのべ59団体に、353,414円が交付された。この制度を受けるために必要な手続きは、次のような流れになっている。詳しくは環境保健課へ気軽に問い合わせしてほしい。

資源を売った業者から書類をもらう
①集団回収有価物買取明細書
②買い取り数量を確認できる伝票など

①、②のほかに、団体の印鑑、奨励金振り込み口座が分かるものを添えて、町環境保健課に申請する

環境保健課 ☎178-56-4218

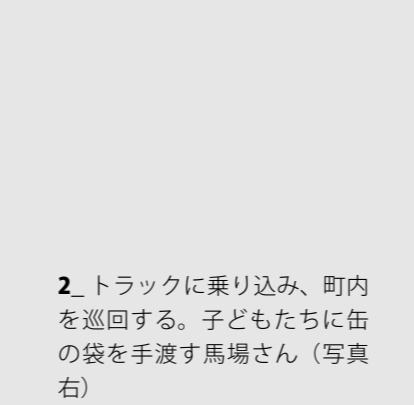
Kinoshita Children's ECO-Working



5_一升びんのふたを丁寧に外す吉田夏美さん。回収した後の分別作業も、大切な仕事だ



3_トラックの荷台の上で、積み込んだ新聞紙を整理する。左から坂本怜美さん、榎山真衣さん、坂本乃愛さん



2_トラックに乗り込み、町内を巡回する。子どもたちに缶の袋を手渡す馬場さん(写真右)



Kinoshita Children's ECO-Working



4_回収物は木ノ下ふれあい館に置いた回収かごに集められる。新聞紙をかごに入れる石川健矢さん(中央)



1_木ノ下ふれあい館前でマップを広げ、回収に向かうエリアを子どもたちに伝える榎山会長(写真右)

6_回収したものの中には、まだまだ十分使える本が入っている。子どもたちは作業の合間に熱心に漫画本を読む。左から榎山修平さん、松橋純平さん、吉田航さん

ごみ減量化に向けた方策

「ごみ有料化等検討委員会」は、平成二十年六月の組織結成から、積極的にごみ減量の取組みを協議してきた。このほど発表された中間とりまとめ「ごみの減量化等に向けた方策について」の詳細内容を、十和田地域広域事務組合の佐々木淳司課長補佐にインタビューした。

「ごみ有料化等検討委員会」はどのようなことを目的に組織されたのでしょうか？

もともとは「家庭ごみの有料化」が可能かどうかを検討するための組織でした。有料化することで▽ごみの分別が徹底される▽費用負担の公平化が図られる—という効果が期待できます。しかし、これまで原則として無料であったごみ処理を有料にすることは、そう簡単にはできないことであるのも事実です。無料でのサービスを提供するのであれば、やはりそれ

ぞれの家庭の協力をいただきながら、ごみの減量をよりいっそう進めていかなければならないと考えています。

その中間とりまとめの内容を教えてください。

まずは「ごみの分別・減量化・資源化」です。ごみの減量やリサイクルを進めるためには、正しい分別がとて大切です。皆さん一人ひとりの力を合わせれば、その効果は大変大きなものになると思います。次に「ごみ有料化の検討」です。

これはごみ処理に必要なお金の一部を、ごみを出す皆さんから負担してもらおう制度です。ごみの分別がさらに徹底されることが予想されます。そして、ごみを出す量は、それぞれの家庭により違いがあります。ごみ処理サービスの量により料金を負担するわけですから、費用負担の公平化にもつながります。

しかし先にもお話ししたとおり、この制度は簡単にはできるものではないと考えています。住民の皆さんの意見を参考にしながら、今後も検討を続けていきます。

最後に「理解・教育・コンセンサス」です。ごみ処理の正しい知識を啓発することは、とても重要なことだと思います。大人はもちろん、子どもたちへの環境教育にも力を入れていきます。そのためには、地域や学校、市町村との協力体制がこれまでに以上に大切になります。

この中間とりまとめでは、住民の皆さんからの意見を広く募集していきます。気軽に問い合わせてください。

中間提言「ごみの減量化等に向けた方策」について

- ごみの分別・減量化・資源化
 - 分別排出の徹底（適正処理の推進）
 - ごみの減量（ごみ排出の抑制）
 - ごみの資源化（リサイクルの推進）
- ごみの有料化
 - 有料化の理解・PR
 - 有料化制度のしくみづくり
 - 事業系ごみの処理手数料
 - その他の施策との併用
- 理解・教育・コンセンサス
 - ごみ処理に対する理解と啓発
 - 環境教育・環境学習
 - 事業者と消費者の協働

詳しくは十和田地域広域事務組合ホームページへ
URL <http://www.net.pref.aomori.jp/towada-kjs/yuryoka.html>



平成十九年四月に「環境美化条例」を制定したおいらせ町。ごみのないまちづくりを目指して、町はどのようにごみ減量に取り組んでいくのか。石川隆一環境保健課主査に話を聞いた。

ごみ減量は家庭から

平成十八年、合併によって誕生したおいらせ町ですが、旧町での家庭ごみの分別方法は違いました。特に百石地区は以前よりごみの分別が細かくなりました。そのため、合併当時は苦情や問い合わせの電話が多かったように思います。

でも時間と共に、町民の皆さんはだんだんと分別に慣れてきたようです。町の周知が浸透してきたことも原因でしょうが、それ以上に環境美化指導員やごみ減量推進員の働きかけが大きいと思います。推進員は各町内会のごみステーション管理だけでなく、啓発やごみ分別の実践など、さまざまな面で協力してくれまます。環境美化指導員から話を聞くと、ごみに対する意識は確実に高まっています。ごみ減量のことばかりです。

ごみの減量はまず最小単位である家庭から。▽ごみを減らす「レデュース」▽繰り返し使う「リユース」▽資源として使う「リサイクル」

この「3つのR」を、家庭でも積極的に取り組んでほしいと考えています。地域一人ひとりの力が、とても大切になります。

新たな方策で意識啓発

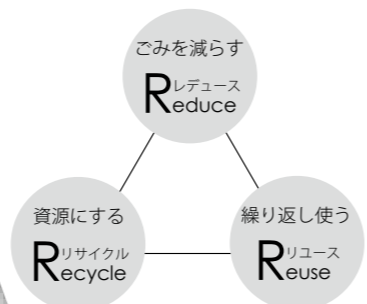
町は本年度、「家庭用生ごみ処理機購入費補助金」を設けます。これは家庭用生ごみ処理機を購入する家庭に対して、三万円を上限に、経費の三分の二を助成するものです。家庭用生ごみ処理機を使うと、生ごみはだいたい七分の一の重さになります。ごみ減量に大きく効果があります。購入として使うこともできます。購入を検討している人は、気軽に問い合わせしてほしいと思います。そのほか、環境美化に力を入れる個人や団体を表彰する制度として、『いきいきランラン美化賞』を設けます。頑張っている人たちの励みや、環境美化の意識を広く啓発することにつながると考えます。

ふだんからきれいに

ごみはごみを呼びます。汚れたところにはどうしても缶やたばこの吸殻のポイ捨てが多いです。普段からきれいにしておくことで、ポイ捨ての抑止効果があると考えています。ごみ減量と一緒に、きれいな環境を整えることは、非常に大切なことだと考えます。

きれいなおいらせを次の世代に引き継ぐために、今こそ私たちの世代が、ごみ減量をみんなでも取り組んでいく必要があります。

「3R」は循環型社会の方程式



おいらせ町環境保健課 主査 石川隆一 Ishikawa Ryuichi

取材を終えて

いかにごみとうまく付き合うか

遠い遠い昔の江戸時代—生活から出たごみはほとんどが土に帰っていた。モノは捨てるのではなく、丁寧に直してリサイクルされていた。そんな時代に比べたら、今の私たちの周りには、モノがあふれるほど豊富にある。たくさんのモノを消費し、そして捨てていく。でもその多くは、江戸時代のように土には帰っていくことができない。プラスチックやびんなどはその代表だ。でも今の生活を、昔のようにタイムスリップさせることは絶対にできない。ならば土に帰ることのできないものを、再び資源として使うことが、大変重要になってくると思う。そのためにはやはり正しい分別が、一人ひとりの取り組みとして必要になってくる。ごみの埋め立ては、今のままでは本当にできなくなってしまう。ごみが出てくるのは当然の時代であるからこそ、ごみとの付き合い方が大切になってくると強く感じた。

特集 おわり

特集の意見や感想を寄せてください
●おいらせ町企画課
Tel 0178-56-4701
●ホームページ・町民の声
<http://www.town.oirase.aomori.jp>



十和田地域広域事務組合 業務課 課長補佐 佐々木淳司 Sasaki Atsushi

6年間の思いを胸に巣立つ

小学校卒業式



小学校の卒業式は3月19日に行われました(木ノ下小は3月24日)。

取材に訪れた甲洋小学校(千葉萬寿雄校長、児童数180人)では、28人が卒業式に臨みました。千葉校長は、「甲洋小で積んだ経験を大切に、中学校でも頑張してほしい」とエールを送りました。

校歌斉唱では、6年間の小学校生活への思いに感極まり、涙を流す卒業生もいました。たくさんの思い出を胸に、中学校でもたくましく羽ばたいてほしいものです。

◀6年間の思いを胸に刻みながら、甲洋小校歌を斉唱する大坂かなこさん

極限でこそ幸せが感じられる

文化講演会



文化協会主催の「文化講演会」は3月22日、北公民館で開かれました。講師は「アクションクラブ隼風」代表の柏崎博志さん=木内々=。

柏崎さんはスタントマンとしての数々の経験、ウルトラマンコスモス役としての経験を振り返りながら、「自分自身で描いた夢は、努力で必ずかなえることができる。一か八かの極限状態でこそ、自分が積み重ねた努力が試される。そんな瞬間に、人間は本当の幸せを感じられる」と、子どもたちに熱く語りかけました。

◀子どもたちへ夢と希望を熱く語りかける柏崎さん

子から母へのおもてなし

出前講座「茶道教室」



出前講座「茶道教室」は3月25日、農村環境改善センターで行われました。参加したのは本村保育園(成田ユミ園長、園児26人)、下田保育園(佐藤友子園長、園児28人)の12人の子どもたち。日ごろ練習した成果をぞんぶんに発揮し、お母さんたちへお茶とお菓子を上手にふるまいました。

田中いぶ希さん(6つ)は「お母さんにお茶をたてられて、うれしかったです」、お母さんの千恵子さんは「娘がしっかりと作法を教えてくださいました。日々の成長に驚きです」とこり笑顔で答えてくれました。

◀上手にお茶をもてなす田中いぶ希さん(右)と千恵子さん(左)

勇気ある行動が高く評価

阿光坊地区火災で人命救助



人命救助を行った沢頭敬三さん(58)=阿光坊=と吉田龍真さん(22)=三田=は、このほど八戸北消防署から表彰されました。

これは2月22日に阿光坊地区で発生した住宅火災で、逃げ遅れた人を救助した沢頭さん、危険を顧みず住宅内を捜索した吉田さんの勇気ある行動が高く評価されたものです。

沢頭さんは「初めての経験で驚いた。助けることができ本当によかった」、吉田さんは「火災現場を実際に見て、だまっていることができず必死でした」と話していました。

◀前列左から、表彰された吉田さんと沢頭さん

地元の特産品が大集合!

特産品まつり



「特産品まつり」は3月14日、15日の両日、イオンモール下田で行われました。

会場にはおいらせ特産のホッキ貝、はちみつ、黒にんにくや郷土料理がずらりと勢ぞろい。

由利大飛くん(1つ)は、柏崎青果の黒にんにくとカワヨグリーン牧場のアイスクリームをミックスした「黒にんにくアイス」の冷たさにびっくり。お母さんの美里さん=大工町=は、「アイスの甘みと黒にんにくの酸味が合います。さらっとしていて食べやすいですね」と感想を話してくれました。

◀黒にんにくアイスを味わう由利大飛くん(左)と美里さん(右)

それぞれの活動が評価

教育奨励賞授与式



「教育奨励賞授与式」は3月15日、みなくる館で行われました。

スポーツや文化活動で活躍した206人の小学生、中校生の皆さんが、村上博教育長から表彰状を手渡されました。

ソフトテニスの活動が評価された百石中学校3年の佐藤安華さん=洋光台=は、「中学校での最高の思い出は東北大会に出場できたことです。これまでの積み重ねが評価されてうれしいです」と、満面の笑みで受賞の喜びを語りました。

◀村上教育長から表彰状を手渡される佐藤安華さん(中央)

地域づくりの地道な一歩

まちづくり研究会



「まちづくり研究会」は3月18日、東公民館で行われました。

▷創心会21の先進地視察研修報告▷深沢町内会のコミュニティ助成を活用したまちづくり▷木崎・染屋エコの会の取り組みが発表されました。

澤上勝さん=木ノ下=は、木ノ下地区の青年層で組織される創心会21による宮城県への視察研修を報告。「地域の熱い思いを肌で感じた。あずましいふるさとづくりに向けて、学んだことを参考にしていきたい」と決意を語りました。

◀研修で学んだ成果を発表する澤上さん

大きくなって戻っておいで

日米合同鮭の稚魚放流会



「日米合同鮭の稚魚放流会」は3月21日、奥入瀬川沿いのしもだサーモンパークで行われました。

当日用意された鮭の稚魚は約10万匹。子どもたちは小さな鮭の稚魚を、まだ冷たさの残る早春の奥入瀬川に優しく放流しました。

小比類巻春香さん(百石小5年)は、「大きく育てほしい」、三瀧亜実さん(木内々小2年)は、「11月の鮭まつりにはちゃんと戻ってきてほしい」と笑顔で答えてくれました。

◀小さな鮭を放流する小比類巻さん(左)と三瀧さん(右)

おいらせ町 職員紹介

特別職



教育長
村上博



副町長
柏崎源悦



町長
三村正太郎

本庁舎

総務課



主任主査
小向正志

総括主査
成田光寿

総括主査
山崎良子

課長補佐
中野重男

課長
川村尚俊



主査
兼田敦史

主任主査
石塚善太

主任主査
安藤靖

主任主査
種市彩子

主任主査
柏崎勝徳

八戸地域広域市町村圏
事務組合へ派遣



主事
澤頭要

神奈川県横浜市へ派遣



主査
若松徹



技能運転手
澤頭信雄

技能運転手
松本洋悦

主事
西村大

企画課



主任主査
鈴木政康

主任主査
佐藤啓二

主任主査
吉田和子

主任主査
三村俊介

課長補佐
西館道幸

地域自治推進監
小向仁生

課長
松林由範

町民課



主任主査
久保田優治

課長補佐
木村幸子

総括副参事
成田登喜雄

課長
久保田良一



主査
大柳僚

主査
沼端真也

主査
深沢典彦

主査
高坂靖子

主査
遠藤真也

主査
大野幸

主任主査
鈴木麻衣子

主任主査
堤雅之



主任主査
吉田和孝

主任主査
澤口誠

総括主査
橋本礼子

課長補佐
松林政彦

都市基盤整備推進監
中村恵一

課長
松林泰之

主事
橋本彰

地域整備課



主査
石川隼人

主査
山中大樹

主査
袴田徹

主査
坂井田浩

主査
立花雄一

主査
岩崎良昭

主任主査
沼尾安寄人

主任主査
栗嶋泰幸

会計課



事務局長
堤克人

主任主査
馬場靖之

総括主査
村田義忠

課長補佐
川島京子

課長
種市岩男

主事
小向絵里華

分庁舎
分庁サービス課



主任主査
相坂弘美

課長補佐
三村伸明

課長補佐
松林光弘

課長
西館勇男



後期高齢者医療推進監
成田君男

課長
昆常男

主事
中村一成

主査
野崎広典

主査
若月淳

主任主査
上野宏子

主任主査
小向正樹



主査
石川隆一

主査
橋貢

主任主査
橋本拓也

主任主査
袴田笑美子

主任主査
村上清孝

主任主査
高橋勝江

主任主査
川口嘉大

課長補佐
北向勝

財政課



主任主査
松山公士

総括主査
田中淳也

総括主査
苔米地加代子

課長補佐
柏崎正光

課長
竹ヶ原勉

税務課



主任主査
佐々木拓仁

総括主査
柏崎和紀

課長補佐
倉館広美

滞納整理推進監
昆忠彦

課長
澤頭實



主事
坂井田章夫

主任主査
岡本啓一

主任主査
川口邦彦

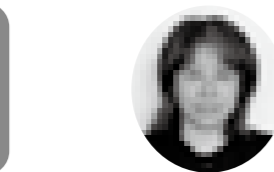
主任主査
劔吉弘

主任主査
工藤要

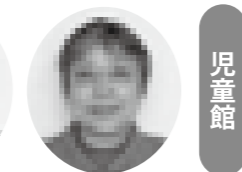


主任保健師
梶由美子

地域包括支援センター



課長補佐
金谷由岐子



総括主査
向山恵子



館長
加藤英子



課長補佐
北向きみ子

出先機関
北出出張所



副院長
杉本恵一



副院長
村井秀昭



副院長
磯嶋泰



院長
白倉外茂夫



おいらせ病院

主査
佐々木文英



主任主査
澤頭則光



主任介護支援専門員
千葉由佳里



主任看護師
渡辺幸子



主任看護師
谷地由起子



主任看護師
三村ゆう子



主任看護師
三村妙子



看護師長
上野留美子



看護師長
上村一枝



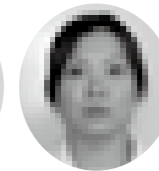
総看護師長
平川千鶴子



副院長
長沖英行



看護師
北条朋絵



看護師
亀橋厚美



看護師
平田幸子



看護師
柿本このみ



看護師
久保彰子



看護師
小笠原和香子



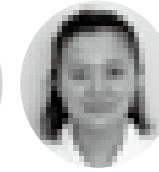
看護師
佐々木恵美



看護師
松村邦子



看護師
佐々木久美子



看護師
沼端瞳



看護師
鈴木抄理



看護師
工藤寿子



看護師
白濁ルミ子



看護師
中村知子



看護師
袴田祥子



看護師
諏訪孝二



主任診療放射線技師
佐々木忠



理学療法士
小野正



理学療法士
向山由佳



理学療法士
板井英樹



薬剤師
井上加奈江



薬剤師
瓦吹政啓



准看護師
地葉レイ子



准看護師
袴田とい子



主任主査
柏崎純子



事務次長
山崎悠治



事務長
日ヶ久保昇



管理栄養士
堀米芳子



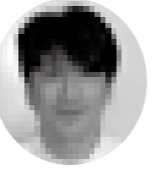
臨床検査技師
天間英人



主任臨床検査技師
成田繁明



主任臨床検査技師
佐々木敦子



診療放射線技師
富島真吾



主事
沢野健一郎



栄養士
エリー優子



保健師
二本柳貴子



保健師
柏崎陽子



保健師
川崎真由子



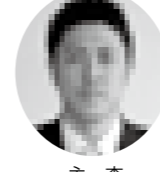
保健師
栞嶋直子



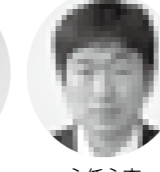
主任保健師
蛭名成枝



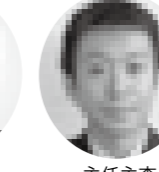
主任保健師
畑中育子



主査
種市健悦



主任主査
若林孝明



主任主査
中里浩



総括主査
馬場太



副参事
馬場雄二



課長補佐
小向博明

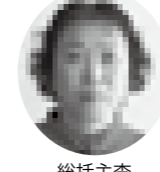


課長
橋本章

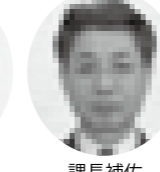


課長
橋本章

介護福祉課



総括主査
松林一枝



課長補佐
袴田光雄



漁港整備推進監
川村淳一



課長
相坂忠志



主事
堤三香



主査
柏崎悠

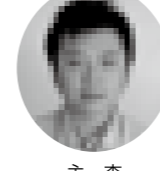


主査
袴田憲司



主査
袴田憲司

農林水産課



主査
沼端幸嗣



事務局次長
柏崎豊



主事
齋藤裕範



主査
遠藤進



主査
木村保



主任主査
吉田友紀



主任主査
澤頭満



主任主査
澤頭満

農業委員会



主事
二川目勝



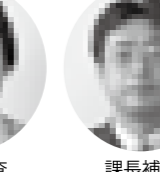
主査
下久保徹春



主査
田中繁幸



総括主査
竹島つよ



課長補佐
澤田常男



課長
鈴木康介

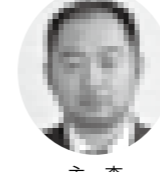


課長
鈴木康介

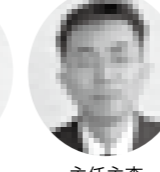


主事
吉田浩昭

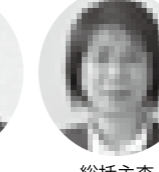
商工観光課



主査
澤頭玲



主任主査
福田輝雄



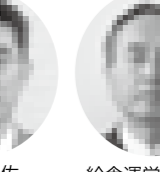
総括主査
馬場祐子



課長補佐
泉山裕一



課長補佐
柏崎尚生



給食運営推進監
上久保良太郎



課長
田中富栄



課長
田中富栄

学務課



主査
坂井田沙織



主査
柏崎雄一



社会教育主事
中野明



主任主査
木村誠



学芸員
小谷地肇



課長補佐
田中貴重

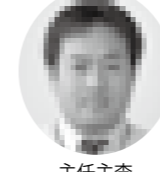


課長
澤上訓



課長
澤上訓

生涯学習課



主任主査
蛭名忠明



主任主査
三文字弥生



総括主査
橋本真人



課長補佐
赤坂千敏



課長
小向力



課長
小向力



事務職員
岡崎尚範



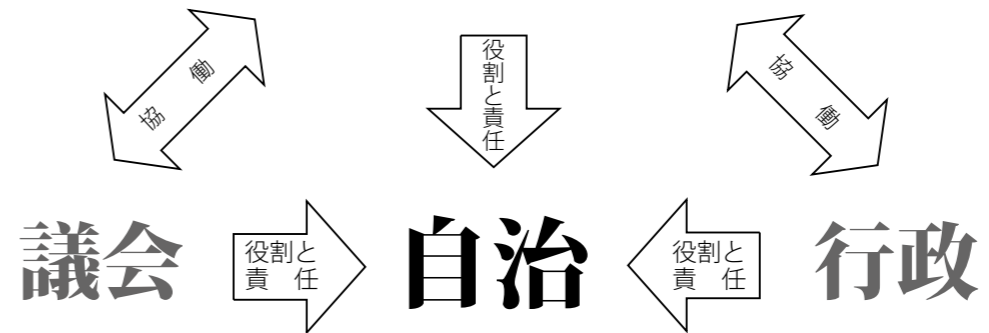
事務職員
岡崎尚範

スポーツ振興課

神奈川県横浜市から派遣

自治基本条例

町の自治は、町民の権利を守り、実現するために進められるものでなければなりません。今回は、もっとも基本的な「町民の権利」を確認します。



第二章 町民の権利

第二章 町民の権利
(生活に関する権利)

第四条 おいらせ町民には、生活に関する以下の権利があります。

(一) 生涯にわたり心身ともに健康で安全な生活を送る権利

(二) 豊かな自然環境のもとで生活を送る権利

(三) 経済的に不安なく、人間らしい生活を送る権利

(四) 外出を希望する限り、徒歩、自家用車、公共交通などの手段により、自由に移動する権利

(五) 子どもから高齢者まで誰もが、生涯にわたり自由に学ぶ権利

第五条 おいらせ町で生活する子どもは、みな健康やかに成長する権利があります。

(個人情報)

第六条 おいらせ町民には個人情報やプライバシーを尊重される権利があります。

(参加に関する権利)

第七条 おいらせ町民には、まちづくりの主体として、参加に関する以下の権利があります。

(一) 行政、議会および地域の状況を知る権利

(二) 政策の形成、実施および評価に参加する権利

(三) 政策の形成、実施ならびにまちづくり活動において、自由に意思を表明し、そのことにより不利益を受けない権利

〔原文のまま掲載〕

次回は町民、議会、行政の「役割と責任」を紹介します
●お問い合わせ 企画課
☎0178(56)4701

執筆

住民が主役の自治組織

八戸短期大学 准教授
三浦文恵
Miura Fumie

住民自治組織とは？

思いもよらず、またおいらせ町と縁ができた。以前、地元テレビ局で県南ニュースを担当していたころ、取材で何度もお世話になった町だ。住民自治組織検討委員会を立ち上げるといふ、県内でも先進的な試みに興奮を覚えた。同時に、恩返しができるかもしれないという思いで、委員会に参加させていただくことになった。

住民自治組織という言葉自体、「よく意味が分からない」という声を聞く。特に、熱心に町内会活動にかかわってきた人ほど、自治組織が「まるで自分たちの町内会を否定するかのような存在ではないか」と懸念を抱く声もあるようだ。

これまで住民は、行政にすべてを任せていてもよかった。これは日本という国が、歴史的に

有力な統治者が治め、住民はそれに従うという「上下関係」で成り立っていたからだ。しかし今、自治体は財源や人手が確保できなくなっている。これを補うのが、まさに「住民」なのである。それこそが「住民自治組織」というわけだ。

アメリカの自治事情

日本とは逆の形で「まちづくり」が進んでいったのがアメリカだ。わたしがコミュニケーションのヒントを得た留学先でもある。何もないとところに移り住んだ住民が、お互いのために協力し合い、ルールを決め、必要な組織をつくった。それが郡や市などに発展し、国を形成する。ただし、あくまで基本は住民が最初につくった自治組織である。今でも

大きな誇りと権限を持つ。多種多様な移民が暮らすアメリカでは、三世代家族、核家族、単身者など、あらゆる形態の家族が地域に混在していた。さらに、文化や宗教も違い、言葉すら通じない外国人が隣人になることも珍しくない。成人後の子どもも同居する習慣がないアメリカでは、老夫婦や独居高齢者世帯も多い。さらに個人の価値観を大切にすることは、個人情報

の共有をいっそう難しくしていた。そのような地域で、いかに各家庭の状況を把握し、住民の協力を得て活動に参加してもらうかは、大いに参考になる。

地区の公民館には住民がスタッフとして常駐し、施設の運営管理に携わる。そして活動の企画立案を行う。住民は地域の拠点としてそこに集ま

り、話をまとめる。スタッフの住民はボランティアだが、町内会費から日当が支払われる。活動資金には、積極的にパーティーやイベントを行い、その売上金をあてていた。個人情報を出し渋る家庭には、いざというときの協力を求める必要性について理解を求めた。他人とのかかわりを敬遠する個人主義者こそ、万が一のときは助けてもらえたいという確信が、安心して暮らすために必要なのだ。そのため、最低限の情報共有が必要だという意味が分かれば、協力を拒む住民はまずいない。

住民が主体になって

前述のように、住民自治組織は町内会の権限を強化し、自主的な組織になりうる。こ

れまでは、自分が住む町内のことだけを、それぞれの町内会で行ってきた。しかし、もっと広い視点で、町全体を良くすることを目的に、住民が主体になって動くのだ。

わたしはこれまでの町の印象や委員会でのやり取りを通じて、町民が町に対して抱く愛情に、並々ならぬものを感じた。特に未来を担う子どもたちや経験豊かな高齢者を大切にしている風土は、最大の財産であり、その町に住みにくいはずはない。多くの魅力を持つおいらせ町だが、「人財を生かす教育と福祉が充実したまちづくり」こそ、おいらせ町にふさわしいのではないかと考える。それを基本理念とする自治組織ができれば、ほかの市町村のモデルになる、とわたしは期待している。



みうら・ふみえ ● 八戸短期大学准教授。専門はコミュニケーション、英語、情報処理。学識経験者として、おいらせ町住民自治組織検討委員会に深く関わっている。八戸市在住。



本村鶏舞

(町無形民俗文化財)

当町には本村もとむらがある。「鶏舞」が保存され、今なお演じられている。名称の由来には、徳川三代家光公が、毎夜亡霊に悩まされたため、將軍の命により剣舞念仏と称して、念仏を唱えながら懺悔文などを唱

え踊るなどにより、亡霊が翌夜から出なくなった。そのとき、あたかも七月十五日の夜でその時始まり、今も旧ウラボンに行く。名称と由来には、そう伝えられている。本村の鶏舞はいつの時代にこの地に伝承されたのだろうか。天保年間(一八三五年)、当時凶作にあえいでいた本村地区二十戸あまりの住民が、不況の克服と豊作祈願のために、五戸町切谷内から伝習したものとされている。頭に鶏

鳥帽子をかぶっている。これは極楽浄土にいる鳥が成仏した霊を慰めたので、その鳥を称え、その鳥帽子をつけて先祖の霊を慰める供養の舞でもある。

文化財保護審議会
委員 永井八郎

あいさつ運動推進中
あいさつで
明るくしよう
おいらせ町

あいさつ運動連絡協議会

公民館講座のご案内

和 裁 教 室

- 日程 六月二日(火)、九日(火)、十六日(火)、二十三日(火)、三十日(火)、七月七日(火)、十四日(火)、二十一日(火)、二十八日(火)
- 時間 十時から十二時まで
- 会場 北公民館
- 講師 工藤邦子さん
- 受講料 無料(ただし教材費は実費負担)
- 製作物 浴衣(大人用)
- 定員 十人程度(申し込み多数の場合は抽選します)
- 申し込み締め切り 五月二十日(水)まで

川 柳 教 室

- 日程 六月十一日(木)、二十五日(木)
- 時間 十四時から十五時半まで
- 場所 東公民館
- 講師 袴田義司さん
- 受講料 無料
- 定員 十人程度
- 申し込み締め切り 五月二十日(水)まで
- 日程 六月三日から翌年の三月二十四日までの毎週水曜日

英 会 話 教 室

- 日程 六月三日から翌年の三月二十四日までの毎週水曜日
- 初級(はじめての英語) 九時半から十時二十分まで
- 中級(英語で会話しよう) 十時半から十一時二十分まで
- 上級(英語で討論にチャレンジ) 十五時半から十六時四十分まで
- 会場 東公民館
- 講師 ボウ・ブキャナンさん(町教育委員会)
- 定員(申し込み多数の場合は抽選で決定します)
- 初級 十人
- 中級 十五人
- 上級 十人
- 受講料 基本的に無料ですが、教材費は実費負担です
- 申し込み締め切り 五月二十日(水)まで

生涯学習課

☎0178(56)4276

東公民館サークル

- 広報おいらせ四月号で紹介した東公民館のヨガサークル「ヨギーニ」の活動時間を次のとおり訂正します。
- ◎訂正前 十一時半から十二時半まで
- ◎訂正後 十時半から十一時半まで

中央公民館サークル

- ナイトフラサークル「ハウオリ」
- 日時 毎週火曜日 十八時半から十九時半まで
- 会場 中央公民館 講堂
- 持ち物 水分補給の飲み物
- 服装 厚めの靴下、パウスカート(なければロングスカート)

☎0178(56)2251

新着図書案内

☎0178(52)3900

- ◆ 一般書 ◆
- 「脳にいいこと」だけをやりなさい! / マーシー・シャイモフ 簡単で効果抜群の脳の「大そうじ」、脳に「ポジティブな回路」をつくる方法、タフな脳にする「夜十時ルール」。
- 日常生活で、仕事で、勉強で、脳のすごい力を引き出す七つの方法を伝授します。 / 小島裕治
- 足でつかむ夢 / 小島裕治

家訓をつくる楽校を開校します

あなたの家には家訓がありませんか? 日本の歴史上の偉人の生き様を学び、自分流の家訓をつくりましょう。

- 開催日 六月一日、八日、二十二日、七月十三日、八月三日、二十四日、九月十四日、十月五日、二十六日、十一月十六日、十二月七日、二十八日、一月十八日、二月八日、三月一日、八日、二十二日
- 場所 木ノ下小学校

生涯学習サポーターを募集

町民の生涯学習活動を支援する「生涯学習サポーター」を募集します。

これまで趣味や仕事を通じて身に付けた知識や技術を生かしてみませんか。指導分野は学術的なものから趣味や健康など、ジャンルは問いません。「みんなと知識を共有したい」、「自分を生かしたい」という積極的な人の応募を待っています。

指導分野				
将棋 (2)	音楽芸能 (11)	絵画 (1)	華道 (4)	教育 (2)
体操 (3)	外国語 (2)	茶道 (5)	写真 (2)	手工芸 (5)
手話 (1)	料理 (2)	書道 (1)	スポーツ (28)	園芸 (1)
ダンス (4)	地域福祉 (4)	パソコン (3)	被服 (1)	幼児全般 (3)
歴史文学 (5)	レクリエーション (7)	その他 (3)	延べ人数 100人 実人数 78人	

僕は今、二十八歳。職業、中学校教師。両手と両腕を、四歳のときに事故で失いました。けれど、夢は失いませんでした。両腕がないけど、教壇に立ちたい! 夢をつかみはじめた著者の、感動あふれるメッセージ。誰にでもわかる自治体財政指標の読み方 / 今井太志 自治体の財政状況を判断する上で必要な指標の読み方を、初心者でもわかるよう事例を用いて解説する。巻末に全国の自治体の財政状況に関する基本データも掲載。

- 祖父母に孫をあずける賢い100の方法 / 棒田明子
- 公務員の給与はなぜ民間より4割高いのか / 北見昌朗
- 心ふれあう「傾聴」のすすめ / 長田久雄
- 可愛い手作り友チョコ&プチスイーツ / 大瀬由生子
- 卵・牛乳・小麦粉を使わない毎日のあんしんメニュー / 大瀬由生子
- マリーシア / 戸塚啓
- まじめの崩壊 / 和田秀樹
- 日本遺構の旅 / なるほど知図帳日本編集部
- 視聴覚資料(DVD)

- 「児童」
- レミーのおいしいレストラン
- カーズ
- リロアンドステイツ
- トムとジェリーの大冒険
- 「一般」
- 半落ち
- ドクタードリトル
- アイ、ロボット
- DVDは図書館内のミニシアター室でも鑑賞できます。
- ◎ 今月の本展示 ◎
- ★ 一般 ★
- 「母の本」
- 五月九日の「母の日」にちなんで

- ★ 児童 ★
- 「世界のしかけ絵本」
- 館外貸し出しはできません。館内でお楽しみください。
- ◎ 今月のよみかかせ会 ◎
- 日時 五月九日(土)、二十三日(土)
- 場所 あそぼつと(図書館内) 十四時から(三十分~四十分)
- ◎ 五月の図書館休館日 ◎
- 七日(木)、十一日(月)、十八日(月)、二十五日(月)、二十八日(木)
- ※五月二十八日(木)は館内整理作業のため休館します。

分野	No.	講座名	
町政	1	生涯学習によるまちづくり	
	2	町の総合計画	
	3	町政の概要	
	4	交通災害共済制度	
	5	町の財政の現状とこれから	
	6	選挙制度	
	7	税のしくみ	
	8	統計調査のはなし	
	9	国際交流	
	10	町の行政改革	
まちづくり	11	指定管理者制度	
	12	町内会で不動産登記をするために	
	13	自治基本条例って何？	
	14	住民自治組織の必要性	
福祉	15	町の老人福祉サービス	
	16	町の児童福祉サービス	
	17	町の障害者福祉サービス	
	18	ボランティア体験	
	19	国民健康保険制度	
	20	国民年金制度	
	21	介護保険制度について	
	22	後期高齢者医療制度について	
	健康	23	妊娠出産期の健康
		24	乳幼児の健康
25		生活習慣病の予防	
26		学童期の生活習慣病の予防	
27		認知症について	
28		思春期のこころと体の健康	
29		高齢者の健康づくり	
安全	30	こころの健康	
	31	感染症の予防	
	32	歯の健康	
	33	健康を考えた食生活	
	34	交通安全のマナー	
環境	35	ごみ減量とリサイクル	
	36	生活に密着した水道の維持・管理	

職員が講師の
行政編

産業	37	町の農業	
	38	農業用水路の役割	
	39	農地転用申請等はなぜ必要	
建設	40	下水道アラカルト	
	41	道路整備について	
都市計画	42	町の都市計画	
	43	これからのまちづくり	
教育	44	生涯学習のすすめ	
	45	青少年健全育成の必要性	
	46	視聴覚教材等の利用	
	47	生涯学習と学校開放	
	48	家庭教育学級の役割	
	49	社会教育指導者の役割	
	50	本の探し方	
	51	町の教育重点施策	
	52	町の学校給食	
	53	わたしたちの文化財	
歴史	54	町の史跡めぐり	
	55	町の遺跡発掘体験	
	56	防災知識講座(地震・火災など)	
防災	57	防災訓練	
	58	火災予防講話	
消防	59	消火器の取り扱い	
	60	応急手当講習会	
救命	61	普通救命講習会	
	62	議会のしくみ	
施設案内	63	公民館の見学・利用方法	
	64	みなくる館(図書館、玉将館含む)の利用方法	
	65	スポーツ施設の見学・利用方法	
	66	民具ふれあい館見学	
	67	おらほの下水道施設見学	
	68	消防署見学	
	69	十和田ごみ焼却施設見学	
	70	裁判員制度について	
	その他	71	特製メニュー(要望により調整)

分野	No.	講座名
文化	1	将棋講座
	2	詩吟教室
	3	短歌入門
	4	楽しい川柳講座
	5	書道教室
	6	いけ花教室
	7	茶道教室
	8	煎茶道教室
	9	昔の遊び(コマ、竹とんぼなど)
教養	10	昔のわら細工(しめ縄など)
	11	昔の民具について
	12	郷土芸能「鶏舞」
	13	郷土芸能「えんぶり」
	14	日本舞踊入門
	15	着物の着付け入門
	16	暮らしのマナー講座
	17	はじめての英会話
	18	手話講座
	19	日商簿記入門
趣味	20	パソコン講座(高齢者向けなど)
	21	デジタル写真を撮ろう
	22	写真講座
	23	夜空の観察
	24	白鳥を観察しよう
	25	馬の飼育・乗馬体験
	26	山草講座
	27	町の歴史を知ろう
	28	昔ばなし
	29	接客・接遇講座
健康	30	水墨画入門
	31	トールペイント入門
	32	切り絵入門
	33	洋裁講座
	34	レクリエーションダンス講習
その他	35	レクリエーションゲーム講習
	36	楽しい太極拳
	37	楽しい登山教室
	38	ウォーキング講習会
	39	体操・ストレッチ講習会
	40	健康料理講習(食生活改善)

町民が講師の
町民編

スポーツ	41	楽しいテニス入門
	42	サッカー教室
	43	野球教室
	44	ソフトバレーボール講習会
	45	バレーボール講習会
	46	ドッチボールを楽しもう
	47	グラウンドゴルフ講習会
	48	ファインボール講習会
	49	フォービーボール講習会
	50	少林寺拳法入門
音楽	51	剣道入門
	52	スピードスケート教室
	53	社交ダンス入門
	54	車椅子ダンス入門
	55	一輪車に乗ってみよう
	56	楽しい！簡単！フラ体験！
	57	ココロ落ち着くヨガ体験
	58	音楽講座(ピアノ、合唱など)
	59	尺八教室
	60	箏曲(琴)入門
幼児	61	子育て講座
	62	おはなし会(絵本読み聞かせなど)
生活	63	保育体験
	64	郷土料理講習
地域活動	65	町内会活動実践事例
	66	子ども会指導者講座
その他	67	各種ものづくり体験
	68	特製メニュー(要望より調整)

黒枠 (■) の数字の講座は、新メニューまたは名称が変わったものです



心豊かな生涯学習社会の実現を目指して
おいらせ町出前講座

町民の皆さんと町職員が共に学習して、素敵なまちをつくろうと始まったおいらせ町出前講座。学習したいメニュー「町民編」、「行政編」の注文に応じて、講師が町内へ出向いてお話しします。休日、平日を問いません。気軽に問い合わせてください。

- 対象/町内在住、在勤、在学している5人以上で構成された団体やグループ
- 内容/出前講座メニューから選んでください
- 開催時間・会場/原則9時から21時までの2時間以内。会場は町内に限ります。メニューにより、日時や会場を制限する場合があります。
- 手配/会場の手配や講座の周知、当日の進行などは申し込み者側で対応してください
- 講師料/原則無料です。ただし、材料費などを事前に用意してもらう場合があります
- 申し込み方法/講座を希望する団体やグループの代表者は、講座を開催しようとする日の14日前までに、生涯学習課へ申し込んでください。行政編No.58から61までの講座は、1カ月前の申し込みが必要です
- 注意事項/①講師の担当外の業務など、その場で説明できない場合もあります ②説明に対する質問や意見は受け付けますが、苦情などを受ける場ではないことをご理解ください
- 問い合わせ/生涯学習課(分庁舎2階)
☎0178-56-4276

学生さん、「学特」がありますよ！

今年、私たちが成人式だね

成人になれば、国民年金の加入もあるんだぜ

そうだったね

あ、保険料の支払いも待ってほしいなあ

そんな学生さんには「学生納付特例」があるんだネン！

あー、国民年金って大変だね

そんな便利なものがあるなんてえ

ワンワン！

通称「学特」！

代理人の身分証 認め印 学生証、在学証明書 年金手帳

ほ持ちしついてもネン！

代理の場合は③と④も必要ネン！

納付時効は2年。学特承認で10年に延長！

教えておいらくん

高齢基礎年金の請求は慎重に



65歳前の請求は注意事項があります。慎重に判断してください。詳しくは気軽に相談してください。

■問合せ／八戸社会保険事務所 TEL 0178-44-1742
町民課（本庁舎1階）TEL 0178-56-2246

職員採用試験 ▶▶ STAFF EMPLOYMENT TEST

平成二十一年度 おいらせ町職員採用試験（上級）

●採用予定人員 若干名（上級・行政職）

●受験資格

①昭和四十九年四月二日から昭和六十三年四月一日までに生まれた人で、大学以上を卒業（平成二十二年三月卒業見込みを含む）し、活字印刷文の出題に対応できる人

②次のいずれかに該当する人は受験できません。

◎日本の国籍を有しない人

●第一次試験期日 平成二十一年七月二十六日（日）

●受験手続き・受付期間 平成二十一年五月七日（木）からおいらせ町役場総務課で交付します。郵送希望の場合は、「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、八十円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒（A4用紙を三つ折で入れられる「長形3号」）を同封し、請求してください。

●提出書類

①職員採用試験申込書（役場備え付けのもの）

②卒業（見込み）証明書

③顔写真二枚（うち一枚は申込書に貼り付けて提出。写真は縦四センチ横三センチ、受験時より前

●活動内容

①会議（年間一〜二回、平日）

②明るい選挙推進の研修会

③選挙時の街頭啓発

④町の各種事業での啓発

●応募資格

①町内在住で選挙権を有する人

②会議、啓発運動、本協議会の各種活動に参加できる人

※特定の候補者の選挙運動員や政治活動を行っている人、候補者の親族は応募できません。

●応募方法 選挙管理委員会に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、五月十五日（金）までに応募してください。

●報酬 日額五千三百円

※右記金額から源泉徴収した額を支給します。旅費は、条例で定める額を支給します。これらは会議の場合のみ支給します。啓発活動は無償ボランティアになります。

☎選挙管理委員会（総務課内） 0178(56)2166

●受検申し込み・問い合わせ 三カ月以内に撮影されたもの）

おいらせ町役場 総務課人事係

〒039-2292 青森県上北郡おいらせ町 中下田一三五―二

☎0178(56)2166

税 ▶▶ TAX

納税相談窓口を開設

	月日	時間	会場
夜間	5月7日（木）	17:15-20:00	税務課（本庁舎） 分庁サービス課（分庁舎）
	5月19日（火）		
	5月12日（火）		
	5月26日（火）		
休日	5月3日（火）	8:30-17:00	税務課（本庁舎）

■問い合わせ 税務課（本庁舎1階） ☎0178-56-4704

選挙 ▶▶ ELECTION

明るい選挙推進協議会 委員募集

選挙管理委員会では、投票率の向上ときれいな選挙の推進を目的として、町内の各種団体からの推薦や選挙管理委員で構成される、明るい選挙推進協議会を設置しています。

本協議会の委員を公募します。ふるって応募ください。

●募集人員 三人

●任期 平成二十三年二月二十八日まで

●活動内容

①会議（年間一〜二回、平日）

②明るい選挙推進の研修会

③選挙時の街頭啓発

④町の各種事業での啓発

●応募資格

①町内在住で選挙権を有する人

②会議、啓発運動、本協議会の各種活動に参加できる人

※特定の候補者の選挙運動員や政治活動を行っている人、候補者の親族は応募できません。

●応募方法 選挙管理委員会に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、五月十五日（金）までに応募してください。

●報酬 日額五千三百円

※右記金額から源泉徴収した額を支給します。旅費は、条例で定める額を支給します。これらは会議の場合のみ支給します。啓発活動は無償ボランティアになります。

☎選挙管理委員会（総務課内） 0178(56)2166

リフォーム工事のため休診します

おいらせ病院は4月28日（火）の午後から5月10日（日）までの13日間、リフォーム工事のために休診します。工事期間中は工事車両などが出入りしますので、関係者以外の駐車はご遠慮ください。ご協力をお願いします。

☎おいらせ病院 ☎0178-52-3111

おいらせ町の人口

(4月1日現在)

	人口	前月比
男	12,175	-10
女	12,848	-21
計	25,023	-31
世帯数	9,107	+47

農業 ▶▶ AGRICULTURE

農業労働賃金の標準額

平成二十一年度の農業労働賃金は次のとおりです。安定した農業労働力確保のため、協力を願います。

ここに示す標準額は、ごく普通の農地での賃料の一例です。極端な湿田や傾斜のある畑など、作業条件の悪い畑の場合は、協議の上で決定してください。

☎農業委員会（分庁舎三階） 0178(56)4874

●農業労働賃金標準額

作業	賃金	基準	労働時間
代かきから植代まで	4,500円	10㌦あたり	
田植機による田植え*1	5,500円		
田植え*2	5,500円	1人1日	8時間
水田除草	5,500円	10㌦あたり	
人手*3	5,500円	あたり	
機械	2,000円		
畑作業全般*4	5,500円	1人1日あたり	8時間
稲刈り（バインダー）*5	5,500円		
動力脱穀（ハーベスタ）	5,000円		
コンバイン	12,000円		
結束	10,000円	10㌦あたり	
稲刈り*6	10,000円		
カッター	3,500円		
脱穀	3,500円		
麦刈り取り	10,000円		
プラウ	3,000円		
ロータリー	4,000円		
堆肥散布	1,000円	1㍓あたり	

※1/運搬料、苗代は別
※2・3・4/賄いは別
※5/賄いは別、結束ひも付き、運転手付き
※6/賄いは別、運転手付き

●小作料標準額（10㌦あたり）

作業	おいらせ町の小作料	地域
田	上田 13,000円	南部地域
	下田 10,000円	北部地域
畑	普通畑 10,000円	全域

サギ 定額給付金の詐欺にご注意！

定額給付金をよそおい、うそを言って現金をだまし取る事件が発生しています。町では次のようなことは絶対にしません。ご注意ください。

- 住民へ町がATM（現金自動預払機）の操作をお願いすること
- 住民に町が給付のための手数料を求めること

不審な電話がかかってきたら、迷わず相談してください。

☎おいらせ町総務課 ☎0178-56-2166
三沢警察署 ☎0176-53-3145
警察相談電話 ☎#9110

交通死亡事故ゼロ記録

1307日

■4月17日現在■

踏切前では必ず一時停止して、左右と前方の安全確認をしましょう。警報機が鳴っているときは、無理に踏み切りに進入しないようにしましょう。

Monthly Oirase Information

おいらせ町役場 ☎0178-56-2111 (代表) おいらせ病院 ☎0178-56-3111 中央公民館 ☎0178-56-2251
 東公民館 ☎0178-52-2061 北公民館 ☎0176-57-0033 町民交流センター ☎0178-56-4711 いちよう公園体育館 ☎0178-52-6744
 地域包括支援センター ☎0178-52-7086 老人福祉センター ☎0178-56-4415 農村環境改善センター ☎0178-56-5255
 いきいき館 ☎0178-52-7095 のびのび館 ☎0178-50-1601 みなくる館 ☎0178-52-3900 学校給食センター ☎0178-52-3319

OIRASE BRAND File ③

【全国に誇れる】
 おいらせが **ブランド**
 アイスクリーム牧場



向山駅を見下ろす小高い丘の上にあるカワヨグリーン牧場。春になるとたくさん家族連れが訪れ、羊の毛刈りや乗馬体験などを楽しむ。秋には恒例のイベント「ふれあい牧場デー」が開かれ、県内外から多くの観光客が訪れる観光スポットだ。このカワヨグリーン牧場で搾った新鮮な牛乳を使ったのが、この「アイスクリーム牧場」だ。カワヨグリーン牧場の川口正博さんは、「牧場ならではの、本物のアイスクリームづくりにこだわっていききたい。最高

の味と品質を、ぜひ皆さんに味わってもらいたい」と自信をみせる。アイスクリーム牧場を口に含むと、なんとも濃厚な牛乳のうまみが広がる。さわやかなあと味が心地よい。カワヨグリーン牧場を訪れた際には、ぜひとも味わってほしい一品だ。
 ■カワヨグリーン牧場
 ☎0178(56)4111
 URL: <http://www.kawayo.com>

町では「おいらせブランド推進協議会」と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。新年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある人は、ぜひ入会してください。
 ●問合せ 町企画課 佐藤啓二 ☎0178-56-4701
 ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>

税金のはなし

国税務課 ☎564704

町税は▽道路などのインフラ整備▽社会保障などの公共サービス▽活力あるまちづくりの財源です。

固定資産税

固定資産税は、毎年一月一日の賦課期日現在で、町内にある固定資産(土地、家屋、償却資産)の所有者に課税される税金です。税額は固定資産の価値をもとに算定されます。

●**税額** 課税標準額×税率
 「課税標準額」原則として固定資産課税台帳に登録された価格です

「税率」一・四割

「免税点」町内に同一の人が所有する固定資産ごとの課税標準額の合計が、次に満たない場合は課税されません。

(土地) 三十万円
 (家屋) 二十万円
 (償却資産) 百五十万円

●縦覧

固定資産縦覧帳簿の縦覧期間は、四月一日から六月一日の第一期納付期限の日

婦に対し、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。請求期限は平成二十三年三月三十一日までで、二年間延長されました。詳しい内容は問い合わせてください。

子そだて

過去に所得超過などで児童手当が却下になった人へ

町民課 ☎562246

児童手当は、五月中旬に申請があった分から新しい年(平成二十年)の所得額で審査します。

までです。

固定資産課税台帳(名寄帳)は、年間を通じて閲覧できます。ただし、縦覧期間を除いては有料です。

詳しくは広報おいらせ四月号で確認してください。

●住宅用地の特例

現に住宅用(別荘などは除く)に使用している土地に対して、その税負担を軽減する特例措置が設けられています。

新たに特例措置適用の対象になる場合や、現に適用されている内容に変更が生じた場合には、申請が必要です。

申告期限は「対象になった(家屋新築など)」または「変更になった(家屋滅失など)」次の年の一月三十一日までです。

税額を決定するために大変重要な情報です。該当者は税務課へ必ず申告してください。賦課期日現在、所有している資産に対する適用確認は、固定資産税納税通知書に添付されている課税明細書に記載しています。

●よくある質問

問/平成十七年に住宅を新築しました。平成二十一年

過去に所得額が限度額以上だったために認定されなかった人も、所得額や年金の種類、扶養親族数に変動がある場合には認定されることがあります。該当すると思われる場合は、五月中旬に申請してください。なお、現在受給中の人には、六月に更新(現況届)のお知らせをします。「申請先」町民課または分庁サービス課

軽自動車税の税額(年額)

原動機付自転車	排気量 50cc 以下	1,000 円	
	排気量 50cc 超 90cc 以下	1,200 円	
	排気量 90cc 超 125cc 以下 ミニカー	1,600 円 2,500 円	
軽自動車	2 輪 (排気量 125cc 超 250cc 以下)	2,400 円	
	3 輪 (排気量 660cc 以下)	3,100 円	
	4 輪	乗用 営業用	5,500 円 7,200 円
		貨物用 営業用 家用	3,000 円 4,000 円
小型特殊自動車	農耕作業用 特殊作業用	1,600 円 4,700 円	
2 輪の小型自動車 (排気量 250cc 超)		4,000 円	

度分から固定資産税が急に高くなったのはなぜですか
 答/新築の住宅は、一定の要件を満たしていれば三年間に限り、税額が二分の一(床面積百二十平米まで)に減額されます。この場合、平成十八年から二十年度分は減額されていません。平成二十一年度は減額適用期間が終了し、本来の税額になっています。

軽自動車税

軽自動車税は毎年四月一日現在、右表の車両の所有者に対して課税される税金です。したがって、年の途中でナンバーを返却した場合、月額の還付はありません。

●軽自動車税の減免

身体に障がいのある人で、一定の要件に該当する

制度

書状を贈呈します

国総務省大臣官房総務課
 ☎03-5253-5182

先の大戦で外地に派遣された旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸軍従軍看護

場合は、減免の申請ができます。

●納税の方法

町から五月上旬に送付される納付書で納めてください。固定資産税の納期は四回に分かれています。

●忘れずに納めましょう

固定資産税一期分、軽自動車税の納期限は六月一日(月)です。納め忘れしないよう、手間のかからない口座振替が便利です。

子育て支援センターからのお知らせ

子育て支援センターでは、未就園児とその家族を対象にサークル活動を行っています。親子で一緒に気軽に参加してみませんか? 詳細は各施設へ気軽に問い合わせてください。

場所	日時	行事内容等
三田保育園 ☎0178-56-2008	5/14㊤ 10:00~12:00	体験保育(2歳)
	5/19㊤ 10:00~12:00	体験保育(1歳)
	5/20㊤ 10:00~12:00	体験保育(0歳)
	5/21㊤ 10:00~11:30	親子クラブ
	5/26㊤ 10:00~12:00	マタニティママクラブ
	5/27㊤ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ
	5/8㊤、15㊤、22㊤、29㊤ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ
錦ヶ丘保育園 ☎0178-56-4051	5/25㊤ 10:00~11:30	ピヨピヨサークル(紙血絵合わせ製作)
菜の花保育園 ☎0176-53-8670	5/9㊤ 10:00~11:30	体験保育
	5/9㊤ 14:00~15:30	わくわくサークル(かおり袋づくり)
	毎週土曜15:00~16:00	キッズパレ&エアロビクスサークル(有料)
あゆみ保育園 ☎0178-52-2206	5/7㊤ 10:00~11:30	母の日プレゼント
	5/8㊤ 10:00~11:30	人形劇鑑賞
	5/12㊤ 10:00~11:30	おもちゃで遊ぼう
	5/13㊤ 10:30~11:00	青空キッズ(中央公園)
	5/14㊤ 10:00~11:30	おしゃべりサロン
	5/15㊤ 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム
	5/19㊤ 10:00~11:30	種を植えましょう
	5/21㊤ 10:00~11:30	ピースサークル
	5/23㊤ 10:30~11:00	青空キッズ(いちよう公園)
	5/26㊤ 10:00~12:00	お散歩・給食体験
5/28㊤ 10:00~11:30	おいらせクロパ	
詳細はきらら通信を確認してください		

有限会社 北浜葬儀センター

電話1本で、どこの病院からでも御遺体を自宅までお運びいたします。葬儀一式25万円から、お客様の予算に合わせてサービスいたします。お気軽に御相談ください。年中無休。24時間営業。

おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎0178-53-2614

※有料広告掲載欄です

おしらせ

五月十二日は民生委員・児童委員の日

民生委員・児童委員の活動を紹介するカードを町民の皆さんに配布しながら、地域住民の立場に立った活動への理解を進めます。

- 行動宣言
広げよう
- 地域に根ざした
思いやり
- 行動目標
① 安心して住み続けられる地域社会づくりへの貢献
② 地域社会での孤立や孤独をなくする運動
③ 児童虐待や犯罪被害から子どもを守る取り組み
④ 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつながりを努める
- ⑤ 災害時の要援護者安否確認

- 民生委員・児童委員の日
活動強化週間
五月十二日(火)から十八日(月)まで
- 民生委員・児童委員の日
一斉取り組み日
五月十七日(日)

各種募集

発掘調査作業員募集

町内在住で、平成二十一年四月一日現在で満六十歳以下、現地まで通勤可能な人

- 調査予定地 中野平遺跡 (おいらせ町中平下長根山) ほか
- 募集人数 十八人を予定
- 募集期間 五月七日(木)から五月二十日(水)まで
- 応募方法 生涯学習課へ付けの申込用紙に必要事項を記入し、提出してください
- 雇用者選考方法 応募者多数の場合は公開抽選会で決定します
- 日時/五月二十二日(金) 十時から
- 場所/大山将棋記念館
- 雇用者説明会
日時/五月二十九日(金) 十時から
- 場所/東公民館 ホール
- 調査期間 六月四日(木)から七月三十一日(金)までの予定
- 賃金 日額六千円
- 勤務

- ① 出勤日は調査期間中の火曜日から金曜日が原則
- ② 一カ月の勤務日数は一人十四日
- ③ 勤務時間は八時十五分から十七時十五分まで

図書館ボランティア募集

図書館の業務やイベント、読み聞かせなどにご協力くださるボランティアを募集しています。

- 対象 町民
- 募集期間 随時
- 対象 町民
- 対象 町民

読書スタンプラリー開催

「読書スタンプラリー」の参加者を募集します。一年で八十冊の読書にチャレンジしませんか? ゴールした人には、賞状と記念品を贈呈します。お気軽に参加してください。

- 試験日 七月三日(金)
※試験会場は問い合わせ
- 技術空曹
○ 資格 年齢は前述技術海曹と同様。国家資格を有する人
- 試験日 七月三日(金)
- 試験会場 東京都府中市
- 問い合わせ
自衛隊青森地方協力本部
三沢募集案内所
☎0176・53・1346

町地域福祉計画策定委員会委員募集

町は本年度「町地域福祉計画」の策定を行います。▽地域福祉サービスの適切

な利用▽地域の社会福祉を目的とする事業の健全な発達▽地域福祉活動への住民参加促進▽要援護者の支援方策などの施策やサービスの計画を策定します。

本計画に町民の皆さんの意見を反映するため、委員の一部を公募します。

- 応募資格
① 町内在住で、平成二十一年四月現在満十八歳の人
- ② 次のいずれにも該当しない人
・ 町のほかの委員会などの委員である人、行政機関の職員や議会議員
・ 禁こ以上の刑に処せられ、その執行が終わっていない人、成年被後

見人等、町税などを滞納している人

- 応募人数 二人
- 任期 平成二十一年六月から平成二十四年三月までを予定
- 応募方法 介護福祉課へ付けの応募用紙に必要事項を記入し、介護福祉課へ郵送または持参してください。応募希望の人は、介護福祉課へ連絡していただければ、必要書類を郵送します。
- 応募期限 五月二十九日(金)まで
- 報酬および費用弁償 報酬は日額五千三百円、費用弁償は距離に応じた額を支給します

イベント

町民ゴルフ大会

- 日時 五月十日(日) 九時半開始
- 会場 十和田国際カンントリークラブ
- 参加料 会員/一千元 非会員/三千元(いずれも参加料、賞品含む。プレー代一万二千元は各自負担)
- 定員 百人(先着順)
- 申し込み期限 四月二十八日(火)
- 主催 町ゴルフ協会

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

吉田 眞比呂 (薫明・陽子)	木崎 苦米地
松野 春 (光春・絵里)	苦米地 青葉
館 琉梨 (剛・千晶)	間木 三田
久保田 健太郎 (旭・千春)	間木 三田
袴田 健太 (健・智陽)	間木 三田
岩崎 裕 (道夫・久美子)	間木 三田
三國 倫太郎 (正樹・里奈)	間木 三田
田中 貴聖 (孔平・貴子)	間木 三田
平野 美之介 (宝敬・由利子)	間木 三田
石文 宏之 (政樹・彩子)	間木 三田
小比類 龍一 (望・香苗)	間木 三田
川口 優希 (一仁・朋美)	間木 三田
荒井 沼花 (俊也・真紀子)	間木 三田
長沼 希花 (康秀・千晶)	間木 三田

結婚おめでとう

町目市 阿光坊	町目市 阿光坊
川戸市 阿光坊	川戸市 阿光坊
一戸市 阿光坊	一戸市 阿光坊
八戸市 阿光坊	八戸市 阿光坊
阿光坊 阿光坊	阿光坊 阿光坊
苗振谷 阿光坊	苗振谷 阿光坊
阿光坊 阿光坊	阿光坊 阿光坊
三田 住吉町	三田 住吉町
木内々 住吉町	木内々 住吉町
住吉町 住吉町	住吉町 住吉町
緑ヶ丘 上新町	緑ヶ丘 上新町
上新町 上新町	上新町 上新町
間秋 新和	間秋 新和
新和 新和	新和 新和
青葉 青葉	青葉 青葉
和葉 和葉	和葉 和葉
葉青 葉青	葉青 葉青

お悔やみ申し上げます

小向 清一 77	七軒町
久保田 マツエ 93	鶴久保
佐々木 きわ 92	日ヶ久保
川口 アサ 84	藤ヶ森
川口 義美 66	洋光台
中野 敏男 54	二川目

3月届け出分。届け出時に、本誌への掲載を希望した人だけ載せています

町営霊園現地説明会

- 日時 5月16日(土) 10時から14時まで
- 場所 町営霊園駐車場
- 問い合わせ 環境保健課 ☎0178-56-4218



1歳お誕生記念写真

期間限定特別価格キャンペーン実施中

通常価格 ¥6,800
 プリント付 ¥7,800
 フォトリソ印刷 ¥8,800
 高画質印刷 ¥9,800

➡

全部合わせて
¥4,800

※1歳未満の子

・ご希望の日に合わせて撮影いたします。・お気に入りの衣装をご用意いたします。

Tel: 0178-52-3525 / Fax: 0178-52-2603
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

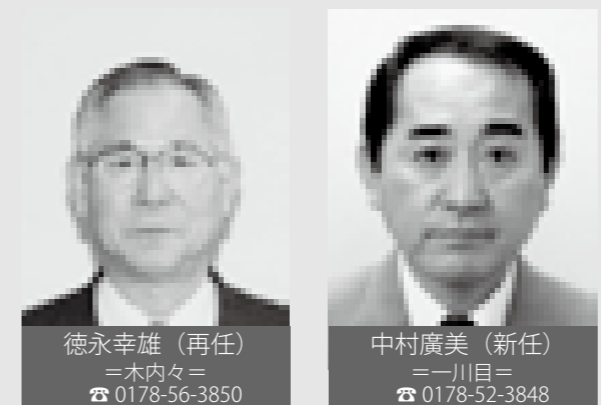
アトリエゆう

おいらせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
2 土				
3 日				
4 月				
5 火				
6 水				
7 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
8 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
9 土				
10 日				
11 月				
12 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談
	1歳6カ月児健康診査	受付/12:30-12:45	いきいき館	平成19年10月生まれ
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
13 水	2~3カ月児健康相談	受付/10:00-10:30	いきいき館	平成21年2月生まれ
	乳幼児相談	受付/13:00-13:30	いきいき館	月齢は問いません
14 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
	ポリオ予防接種	13:30-14:00	いきいき館	生後3カ月から90ヶ月の幼児
15 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
16 土				
17 日				
18 月				
19 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談
	2歳6カ月児健康診査	受付/12:30-12:45	いきいき館	平成18年10~11月生まれ
20 水	転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00	北公民館	栄養講座もあわせて開催します
	9~10カ月児健康相談	受付/10:00-10:30	いきいき館	平成20年7~8月生まれ
21 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
22 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
	3歳児健康診査	受付/12:30-12:45	老人福祉センター	平成17年11月生まれ
23 土				
24 日				
25 月				
26 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談
	愛の献血	10:00-16:00	分庁舎	
27 水	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
28 木	転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00	のびのび館	
	転倒予防教室	11:00-12:00	老人福祉センター	理学療法士の運動指導
29 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
30 土				
31 日	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール	

行政相談員が総務大臣から委嘱される

行政相談員は、行政への意見や要望などの相談に応じています。相談方法は電話や口頭いずれでも結構です。毎月第4水曜日には定例相談日を設けていますので、気軽に利用してください。



松林裕子相談員=根岸=は任期満了に伴い、この3月で退任しました。長い間お疲れ様でした。5月18日から25日は、春の行政相談週間です。

■行政相談日
5月20日(水) 10時から15時まで
中央公民館小会議室

人権擁護委員が法務大臣から委嘱される

人権擁護委員は、たくさんの人に人権の関心を持ってもらうため、啓発活動を行います。そのほか、人権相談所を開設したり、地域の皆さんから人権相談を受けたりする活動を行っています。



任期は平成24年3月31日までです。小向彰一委員は任期満了に伴い、この3月で退任しました。長い間お疲れ様でした。

■人権相談日
5月11日(月) 9時から12時まで(北公民館)
6月1日(月) 9時から15時まで(東公民館)

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶴久保/木/下/豊栄/豊原 向山/苔米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/梁屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ 団地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切 川/川口/明神下/横道/日ヶ久保	町内会
毎週月・木曜日		毎週火・金曜日	燃えるごみ
5月22日(金)	5月26日(火)	5月25日(月)	燃えないごみ
缶・プラスチック プラスチック	5月6日(水) 5月20日(水)	紙 びん	5月13日(水) 5月27日(水)
5月8日(金)・22日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です			資源ごみ
			粗大ごみ

◎祝日も収集します ●問い合わせ 環境保健課(分庁舎1階) TEL 0178-56-4218

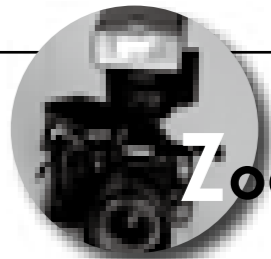
編集後記

▽今月の特集はわたしたちの生活と関係が深い「ごみ」を取り上げました。ごみ処理の現場を実際に目にして、「こんなに手間やお金がかかっているのか」と驚きました。そして、いつも捨てているごみの中にはたくさんの「資源」が含まれていることをあらためて知りました。廃品回収で家庭を回る子どもたちの楽しそうな姿を見て、「子どもたちの将来のために、今からごみ減量に取り組みなければ」と思いました。▽三月にアメリカで開かれたワールドベースボールクラシックでは、イチロー選手の劇的な一打で、日本代表が二連覇を果たしました。日本中が興奮の渦に包まれたと思います。どんなに調子が悪くても、努力を積み重ねていけば、土壇場で力を発揮できるのだなと思えました。▽甲洋小学校で行われた卒業式では、最後の校歌を歌い、涙を流す卒業生の姿を見ました。たくさんのお出を胸に「頑張れ」と心の中でエールを送りました。

企画課 広報担当 松林拓大

Original Frame & Urethan Panel
F&Pの家
参加費 無料
「FPの家」の要とも言える「FP断熱パネル」の製造工場を工場見学という形で毎月一般公開しております。建てた後で後悔しない「FPの家」のヒミツを「体感」してみませんか?
◎5月10日(日)に開催します。
◎6月は6月14日(日)の予定です。
※詳しい内容のお問い合わせ、お申し込みは 建築課 立崎・太田まで
〒039-2135 上北郡おいらせ町立蛇71番地
Tel. 0178-50-6511 Fax. 0178-50-6510
ホームページ 柏崎組 検索 Click

※有料広告掲載欄です



Zoom up

この4月に新しく採用された職員、人事交流で派遣になった職員のフレッシュな顔ぶれを紹介します



企画課 堤大輔 主事
Tsutsumi Daisuke (22) =向山=

主に国際交流を担当します。オンラインワンのおいらせ町をつくるために、全力を尽くして頑張ります



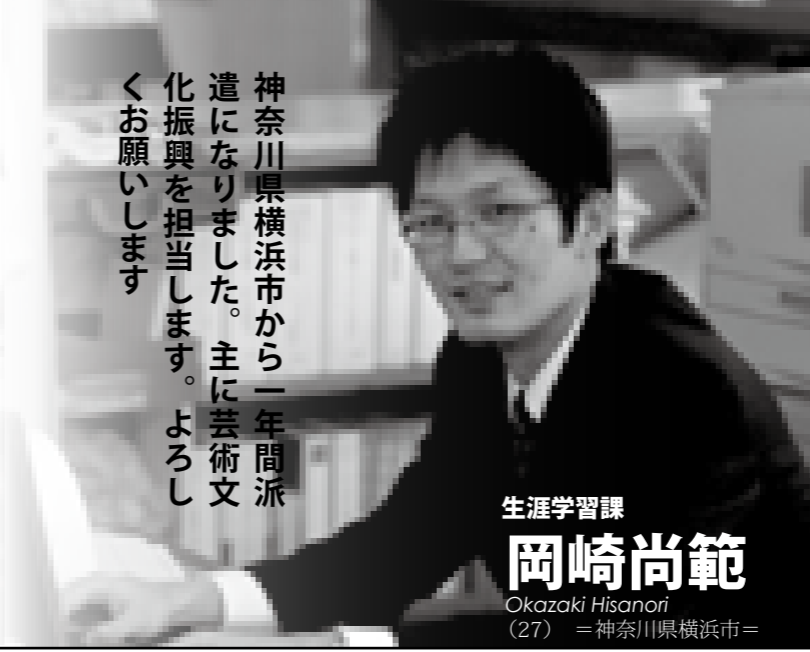
環境保健課 エリー優子 栄養士
Ary Yuko (34) =川目=

主に栄養改善や食育を担当します。町民の健康寿命アップを目指して、一生懸命勉強して頑張ります



農業委員会 吉田浩昭 主事
Yoshida Hiroaki (20) =木崎=

主に農業者年金を担当します。農家の皆さんの力になれるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします



生涯学習課 岡崎尚範 主事
Okazaki Hisanori (27) =神奈川県横浜市=

神奈川県横浜市から一年間派遣になりました。主に芸術文化振興を担当します。よろしくお願ひします



おいらせ病院 沢野健一郎 主事
Sawano Kenichiro (26) =深沢=

主に病院の業務委託や健診を担当します。皆さんのお役にたてるように、一生懸命頑張ります

ふるさとのために力を注ぎたい

近年人口増加が著しいおいらせ町で、消防行政の中核を担う八戸北消防署。住民の安心、安全な生活を目指して、職員は厳しい訓練を積みながら、日夜仕事に励んでいる。

四月一日、名久井廣さん(五七)が八戸北消防署の署長に就任した。名久井署長は「私はもともとおいらせ町の二川目地区出身です。若いころにはイオンモール前であった八戸北分署でも三年ほどお世話になったことがあります。このおいらせで再び仕事をさせてもらう機会を与えてもらって、感慨もひとしおです」と語る。昭和六十年ころに北分署での勤務を始めたとき、町の広報担当者から撮影してもらった若かりしころの写真は、今でも大切にしているという。

その思いは強くなり、消防職員の試験を受験しました。昭和四十七年以降、消防士として日夜を問わず、消防行政の推進に力を注ぐ。そして今年四月、ここおいらせの八戸北消防署へ異動。ふるさとへ戻った。名久井署長は八戸北消防署長としての豊富をこう語る。「防災意識の向上は、私たち消防だけでは限界があります。家庭や

地域、消防団の協力がどうしても必要です。おいらせの消防団は技術も非常に高く、日々訓練を重ねていると聞いています。私たちにとって、大変心強いことです。これからも地域の皆さんとの連携を大切にしていきたいと考えています。ふるさとの防災のために力を注ぐという名久井署長。郷土への愛情をこめて、力強く思いを語った。

PROFILE

なくい・ひろし●八戸北消防署長。1949年、おいらせ町二川目生まれ。72年消防士採用後、八戸北分署、八戸東消防署勤務などを経て、2009年4月に八戸北消防署署長に就任。八戸市在住、59歳



八戸北消防署長に就任した
名久井廣さん
Nakui Hiroshi



友達といっしょに大はしやぎ
そんなお父さんが大好きです
なかぐきあやか
中嶋純花さん
あつし
純さん

|| 鶏久保 ||

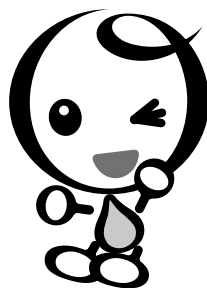
木ノ下児童館で開かれた地域への感謝イベント「どこかで春が」で出会った中嶋さん親子。

木ノ下小学校三年生の中嶋純花さん（八つ）は、一年生のときからずっと木ノ下児童館に通っている。この日の純花さんは、これまでお世話になった地域の人にお茶やお菓子をてきばきと運び、もてなしていた。

そんな純花さんを見つめながら、あごひげが似合う父親の純花さん（三七）はこう語る。「純花は児童館に通うようになってから、ほかの人への思いやりが育ってきたように思います。一人娘ですから、今までは『わたしが、わたしが』ということが多かったです。人とかかわりの中で、少しずつ成長していると感じています。親として、地域の大人として、これからも積極的にかかわりたいです」

純花さんは、「お父さんはいつも児童館来ると、ほかの友達ちといっしょに大はしやぎしながら遊んでくれます。そんなお父さんはとてもおもしろくて、大好きです」と、にっこり微笑みながら話す。

大きくなったら保母さんになりたいという純花さん。たくさんのお会い、経験を積んで、夢に向かってしっかりと育ってほしい。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 **おいらせ**

広報おいらせ 5月号の印刷経費は、1部52円です

広報おいらせ No.51 2009年5月1日発行号